

平成28年度 第7回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成28年10月24日（月）

場 所 豊岡市役所日高庁舎3階 第3会議室

所在地 豊岡市日高町祢布920番地

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後3時5分

○ 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	委員（委員長）	深田 勇
	委員（委員長職務代理者）	中川 茂
	委員	宮嶋 珠美
	委員	佐伯 和亜
	委員（教育長）	石高 雅信

欠席委員 なし

○ 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	丸谷 統一郎
	教育総務課長	和藤 達也
	教育総務課参事（企画係長）	午菴 晴喜
	教育総務課文化財室長	小寺 誠
	こども教育課長	能登 琢也
	こども育成課長	福富 省吾
	教育総務課参事（課長補佐）	正木 一郎
	教育総務課教育総務係長	向原 芳江

事務局以外 地域コミュニティ振興部

コミュニティ政策課参事（公民館担当）真島 利之

生涯学習課長 井上 貢

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

中川 茂 委員

第2 前回の会議録の承認

平成28年9月27日（火）開催 第6回定例会

第3 教育長の報告

#### 第4 地域コミュニティ振興部の報告

##### 1 生涯学習課

- (1) 市民ふれあいのつどいパート2について

#### 第5 議事

○議案第24号 豊岡市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則を廃止する規則制定について

○議案第25号 寄附物件の申出について（2件）

#### 第6 協議事項

- 1 教育委員会管外（淡路市）行政視察を終えて

#### 第7 教育委員会事務局の報告

##### 1 教育総務課

- (1) 豊岡市歴史文化基本構想策定の取組状況について

##### 2 こども教育課

- (1) 運動会、体育祭の感想から
- (2) 豊岡市こども支援センターの活動報告等について

##### 3 こども育成課

- (1) 平成29年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について
- (2) 平成29年度放課後児童クラブ入所者募集について

#### 第8 委員活動報告

#### 第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

#### ○ 会議の概要

---

開会 午後1時30分

---

(深田委員長)

ただいまから平成28年度第7回教育委員会会議を開会いたします。

本日は教育委員全員が出席しておりますので会議の定足数である過半数を満たしております。会議が成立していることを報告させていただきます。

#### [日程 第1 会議録署名委員の指名]

(深田委員長)

日程第1「会議録署名委員の指名」ですが、本日は中川委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

## [日程 第2 前回の会議録の承認]

(深田委員長)

日程第2「前回の会議録の承認」です。平成28年9月27日に開催いたしました第6回定例会の会議録につきましてはすでに委員の方々に配付をして確認をいただいております。委員の方々に承認を求めるものです。修正、誤りはありましたでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

「なし」の声がありますので、会議録につきましては承認するという事に決定いたしました。

## [日程 第3 教育長の報告]

(深田委員長)

日程第3「教育長の報告」に移ります。教育長の報告をお願いします。

### 《教育長の報告概要》

9月27日から今回の定例教育委員会会議開催までの期間における教育活動の概要

#### \*豊岡市児童体育祭について

10月6日、7日に豊岡市の小学校を2つのブロックに分けての体育祭が行われた。数年前と比べて非常にこの体育祭が良くなったと思う。その1点目は、指揮台に上がった方を見てしっかりと話を聞く姿勢ができたということ。2点目は引率の先生方に大きな声を出さなくてもしっかりと整列ができたということ。この2点が今までと比べて大きく子どもたちが成長したところであり、こういった集団行動ができる豊岡市の小学生、この姿が全国学力学習状況調査の学力面にも影響してきているのではないかと考えている。

#### \*目標管理シート面談について

10月11日から目標管理シート面談を始めている。特に今回の面談は2点について校長先生方にその学校の取組を聞いている。1点目は全国学力・学習状況調査で正答率40%未満の子どもたちに対する対応策をどうしているのかということ。2点目は不登校の子どもたちの対応策と、不登校の子どもを出さないための対応策。このことについて尋ねている。

### 《教育委員の質問・意見概要及び教育長・事務局の回答・説明概要》

(中川委員)

教育委員会事務局の協議で「組織の見直し」というのがあるが、事務局組織の見直しというのはまだ発表できる段階ではないのか。

(石高教育長)

一応我々としてはこういう方向でいきたいということがあるので、次長から具体的にお話しさせていただきます。

(教育次長)

教育委員会事務局では、事務局全体の組織として見直していかなければいけない部分と、個々の部分についても絶対的に人が足りないという状況の2点がある。

まず、こども育成課がこども企画課がなくなった時点で組織的にうまくいってない。特に施設管理の部分や、子ども子育て支援事業の関係が出てきて、こども育成課で指導等を行うことが増えてきており、その辺の職員の数が足りなくなっている。

また、こども支援センターは、現在、兼務の所長になっているが、どうしても組織的に不都合があり、その辺についても見直していかなければならないということがある。

教育委員会事務局全体としては教育総務課、こども教育課、こども育成課で所管している施設の管理部分を見直す必要があるのではないかなど、組織全体として人も含めて考えていかなければならないことについて、3課の課長含めて協議をしている状況である。

(深田委員長)

教育長報告については以上で終了させていただきます。

#### [日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告]

(深田委員長)

日程第4「地域コミュニティ振興部の報告」に入ります。生涯学習課より報告を受けます。

#### 1 生涯学習課

《生涯学習課長の報告概要》

##### (1) 市民ふれあいのつどいパート2について

11月27日(日)午後1時30分から、市民プラザで「市民ふれあいのつどいパート2」を開催する。2部構成となっており、まず第1部では人権標語・ポスター・作文、今年から新たに取り組んだ「人権こころの詩」の表彰。小中学校並びにPTAの皆様方からたくさんの応募をいただいた。第2部は蓮池薫氏に「夢と絆」と題して講演していただく。入場は無料だが整理券が必要となる。第1部の表彰者は資料の入選者一覧のとおりである。応募数は、人権標語は小中高校・PTAから6,020点、ポスターは小中学校から791点、人権こころの詩は小中学校から1,569点、合計8,380点の応募をいただいた。なお法務局が公募している作文は、豊岡市の中学校からの応募数が1,380点であった。

(深田委員長)

説明をいただきましたが、委員の方々、質問・意見はありますか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

質問・意見ありませんので、打ち切りをさせていただきます。

## [日程 第5 議事]

(深田委員長)

日程第5「議事」に移らせていただきます。これより審議案件につきまして討議をいただきたいと思っております。スムーズな議事進行ができますようにご協力をお願いします。

議案第24号「豊岡市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則を廃止する規則制定について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

### ○議案第24号 豊岡市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則を廃止する規則制定について

《コミュニティ政策課参事の説明概要》

豊岡市議会9月定例会において可決された、豊岡市立公民館の設置及び管理に関する条例の廃止に伴い、当該施行規則を廃止しようとするもの。なおこの規則については平成29年4月1日から施行することとしている。

(深田委員長)

説明は終わりました。質疑に入ります。質問等ありますか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

質疑打ち切りをさせていただきます。続きまして討論に入ります。討論はありませんか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

討論打ち切りをさせていただきます。ではお諮りいたします。議案第24号につきましては原案のとおり決定してご異議ありませんか。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

「異議なし」の声がありますので異議なしと認めます。議案第24号につきましては原案のとおり決定いたしました。

続きまして議案第25号「寄附物件の申出について」議題といたします。まず事務局の説明を求めます。

### ○議案第25号 寄附物件の申出について

《教育総務課長の説明概要》

議事資料の一覧のとおり、団体2件の寄附物件の申出があったので、これを受納しようとするもの。

(深田委員長)

説明は終わりました。質疑に入ります。質問はありませんか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

では質疑は打ち切りをさせていただきます。討論に入ります。討論はありませんか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

「なし」の声がありますので討論打ち切りをさせていただきます。それではお諮りいたします。議案第25号「寄附物件の申出について」、原案のとおり受納を承認するということに決定してご異議ありませんか。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

「異議なし」の声がありますので異議なしと認めます。議案第25号につきましては原案のとおり承認するということに決定いたしました。

**[日程 第6 協議事項]**

(深田委員長)

続きまして日程第6「協議事項」に入ります。本日の協議事項につきましては「教育委員会管外行政視察を終えて」を議題といたします。最初に事務局より議題の趣旨等について説明をいただいて、それに基づいてご意見を承りたいと思います。事務局お願いします。

**1 教育委員会管外（淡路市）行政視察を終えて**

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

先日の視察を踏まえて、今後、豊岡市教育委員会で検討しなければならないことなど、自由な意見交換の場ということで進めていただきたい。

(深田委員長)

説明がありましたように、ここでいろんなことを決定するというよりも将来的な方向を含めて自由な意見をいただいて、その中で方向性を検討していきたいということです。感想が主になるかもしれませんが、皆さんが視察を終えられた後どのような感想をお持ちになり、今後にこういう点で活かしていくべきではないかということをお考えいただいたと思いますので、そのあたりについてご意見をお願いします。

(中川委員)

実際にタブレットを使った授業を見せてもらいましたが、授業そのものについてはそんなにびっくりするような内容ではなかったと思いました。ただ説明にもあったように、そもそも淡路市の場合は市長のトップダウンからスタートしたということもあって、機器整備等に係る予算も桁違いに多いし、それらの学校現場をフォローするための2人の専任職員が配置をされているということで、そういう意味ではうらやましいなと思いました。セキュリティの関係とか、タブレットは、あくまでもツールの1つだよというあたりの基本線はしっかりしていて、あの人たちが支援していく限り、良い情報教育というのがたぶんあそこではできるんだろうなと思うので、これから豊岡も機会ある度に淡路市にいろいろ気軽に聞いていけばうまくいくのではないかなと思いました。

(佐伯委員)

中川委員と同じように、すごいと思うようなものではなかったのですが、豊岡市よりかなり進んだことをしているという点、バックアップがしっかりしている点、先生方もたくさん勉強されているなど思いました。豊岡市は今からスタートということでゼロからのスタートですが、全てを豊岡市で工夫していくというのはすごく時間のかかること。淡路市も時間をかけてここまでられているので、豊岡市がこれから時間をかけていくというのは大変なことだと思います。なるべく淡路市と情報交換しカリキュラムなどを頂けるなら頂いて、少しでも時間短縮してiPadなどの活用が早くスムーズにできるようにしていけたらと思っています。機器だけに頼る授業ではなくて、「iPadの機器任せではなくて、つまずきとかやりたいことの手段として使う」、「プラス教師の寄り添いがとても大切」と説明にありました。やはり人としての大切なことも重要に考えながら教育のツールとしてiPadを使う…。豊岡市もこれからどんどんiPadの使用が広がっていきますので『使える手段』として早く活用できたらなと思います。

(宮嶋委員)

淡路市のようなことはなかなか豊岡市ではできないと思いますが、私が印象に残った言葉が「みんなでおおうは誰も使わない、意欲のある先生から使っていこう」という言葉です。豊岡市は平成27年度から何校かにタブレットが整備されているわけですが、とにかく使っていないと思います。もう1つ、タブレット専門の先生を作るとおっしゃっていたのですが、これはあくまでも私がこうしたらどうかなと思ったことですが、各学校に1人ずつタブレットに対する意欲のある先生を選んで、その先生にはずっと使ってもらおうということをしたらどうかなと思いました。人は任されると責任感が生じると思います。その1人の先生に使ってもらい勉強してもらおう。その勉強は1年間先にされたモデル校の先生方であったり淡路市で研修された先生が豊岡市におられるという話を聞いたので、その先生にも協力してもらえないかなと思います。

ました。とにかく使っていかなないと広がらないと思います。

(深田委員長)

主に感想になりますが、事前の学習会、当日実際に研修視察をさせていただく中で感じたのは、タブレット活用の教育に関しては良い点と気になる点があるということです。

良かった点の1つ目は、校内LANの整備がされておりましたので、校内LANの整備がきちっとされればサーバーを通さなくても学校現場でもすぐにコンテンツが利用できると言っておられました。いろいろなものが利用できる時代が来ているんだということが私なりにわかりました。このことがデジタル教科書がこれからどんどん広がっていくための前準備につながるのかなというようなことを感じました。

2つ目は、人の問題です。淡路市で言われておりました研修員ですね。教職員の研修体制がしっかりとできているなと思いましたので、そういうものをこれからしっかりと整えていかなければと思いました。先ほど宮嶋委員は各学校に1人ずつの体制というようなこともおっしゃっていましたが、そういうことも含めて淡路市での研修員のシステムを研究していくことも必要なのかなと思いました。

3つ目は運用マニュアル、これが私から見てよくできているのかできていないのかわかりませんが、運用マニュアルがこれだけしっかりできているということであれば十分これを参考にしていけるんじゃないかなと感じました。

4つ目は、子どもたちには道具として使うにはまず使い方を教えないといけないんじゃないかと思っておりましたが、話を聞いていたら「子どもたちはそんなことをしなくても自由に使えるようになっていきますよ」というような話でしたので、まずは与えるということが必要なのだと感じました。

気になった点としては、淡路市では、5・6年生全員に持たせていました。そういうことを考えたら、豊岡市内全部の中学生と5・6年生の児童に1台ずつタブレットを渡すということになったらすごい金額になるんじゃないかと。淡路市の話では高額寄附をしてくれた人がいたという話がありましたけれども、そのようなことがなかったらなかなか揃わないのかなと。財政面の予算的なことは将来的に心配だなと思いました。

また、特別支援教育には有効なんだという話でしたので、特別支援教育にどのようなかたちで有効であったのかということを実際に見たかったと思いました。特別支援教育に有効というのは、具体というものをきちっと与えることと、先の見通しをきちっとつけてやることが特別支援教育にとっては大変大切なことだと言われますので、そういうことで言うと大変有効なのだろうと感じたところで、それが見られなかったのが残念な気がします。

3つ目は、年間の指導計画を淡路市では作っていないということでしたけれども、やはり年間の指導計画はしっかりと作っていないといけないと思っています。

4つ目は、校外学習や修学旅行などに持って行く、つまり外部への持ち出しについてですけれども、淡路市ではまだ今から検討ということでした。視察先の校長先生は今のところ情報のリテラシーというようなことについてはあまり考えていないという話でしたけれども、どうしてもリテラシー教育というのが必要になってくるのかなと感じました。

全体的に、大変意欲的に進める人がいて、その人がぐんぐん引っ張ってというようなかたちで進んできているなと感じたところです。豊岡市で同じようなかたちでやるというのはなかなか難



しいかもしれませんが、誰かが引っ張っていかないといけないとなると、やはり子ども教育課に引っ張っていくリーダー的な人を位置づけて整備をしていかないといけないと感じたのが今回の視察研修でした。

それともう1つ、直接タブレット活用教育とは関係ないのですが、急に地震が起こってびっくりしましたが、あの時に5年2組を見て思ったのは、災害訓練というのは日常的にきちっとしておかないといけない、大切だなと思いました。あの時も一斉に地域メールが入ってみんなの携帯電話から音が出て、子どももびっくりしていました。それが鳴ってすぐに揺れ出したので、先生が「机の下に入りなさい」と言ってみんな入る。その中でおどおど泣くような感じの子がいたりして、その子のところに先生がすぐに行ったりというようなことで、あそこは野島断層に近い所だから日頃からそういう訓練についてはきちっとされているのでしょう。わりと早くもぐって気になる子のところにきちっと寄り添うというようなこととか、視察の対応をしてくださった指導主事が教室を順に回って声かけをしておられました。そういうのを見て、リアルタイムで訓練の成果を見させていただいたような気がしました。これは直接研修の目的ではなかったですけども、そういうことも含めて、私にとっては大変衝撃的な1日でした。

(中川委員)

最後の点について、淡路市と言えはすぐそこに海があるんですね。津波の心配というのはあるんだけど、豊岡の子どもたちは地震がきたら座布団と頭巾と一緒に買ったようなものを使うんです。ところがあそこはそれもなかったということと、先日場合は、たまたま我々が視察に行っていて、我々の携帯メールが一斉に鳴り始めたんだけど、担任の先生が携帯電話を持っていなかったんです。エリアメールで情報がわからないんです。地震だとはわかるんだけど、どこで地震が発生したとか、震度がどれぐらいとか、津波の心配があるのかといった情報が現場の先生もすぐにわかるように携帯電話は持っておいたほうがいいなと思いました。これは個人的な思いです。

(深田委員長)

確かに男の子は「これで震度いくつ？」と聞いていました。先生はわからなかったようで、私が「淡路でも4みたいよ」と言ったら「ほう」と言ってました。なかなか先生が即座にそういう情報を入手するというのは難しいかもしれませんが、子どもの不安というようなことを掌握して、それにきちっと答えていくとなれば何らかの工夫が必要かなと思います。

(中川委員)

校内放送はありましたか。

(深田委員長)

なかったです。

(石高教育長)

教育長報告で先ほど話をしませんでしたでしたが、今日開催された校園長会で、「淡路島に出張していてその時に地震が起こり、緊急地震通報が入った。約数秒間おいて揺れがきた。その間に先生は

心の準備ができて子どもへの指導が的確にできた。したがって豊岡市の先生方も教室に携帯電話を持って入ってください。しかし、当たり前のことではあるけれども授業中に通話しない。緊急地震速報はマナーモードにしても音が出るからその状態で持って行ってください。その方が対応が早くできるし仮に何かあったときでもその携帯電話を使って連絡ができる」と、そういったことを今日お願いしておきましたので、明日からは豊岡市では担任の先生を含めて授業に入る先生はすべて携帯電話を持って入っていただくということを今日お話ししております。

それからタブレットの関係で、豊岡の場合、タブレットをどう活用するのかということを考えてきたときに、すべての教科で使うということを前提にしながら幅広く活用を考えて導入するとなると、はたして先生方の研修がどこまで徹底するのかなど。まして豊岡市は来年度からローカル&グローバル学習でふるさと、英語、コミュニケーションをやっていく。さらにこの部分もやるとなったら非常に大変な部分が出てくるのではないかなど。となると例えば今の新しくやろうとしているローカル&グローバルのふるさと教育にタブレットを持って出て、そこで集めた情報を持ち帰ってどう活かしていくとか、あるいはそのタブレットを使ってどう情報を発信していくとか、そういったある程度教科に限定していけばいろんな事例がそこで集まってくるのではないかなどと思います。ただやはりこれを幅広くやろうと思えば、相当先生方の研修もしなければなりませんし、それだけの人的配置をしなければたぶん定着はしないだろうという思いを持ちながら淡路市の取組を見させていただきました。

同時に、例えばこれを放課後の算数教室の学習で何かプログラムを使って、集中ができない子どもに、繰り返しの計算練習とか基礎的な図形の問題とか、そういった基礎基本の学びにタブレットが使えないかなどという思いも持っています。そのことによって基礎的な力を高めていくという取組を豊岡で試してみてもどうか。タブレットを使うことによって子どもたちの基礎的な学力が上がったかどうかという検証もできるのではないかと、そのあたりの使い方を考えたときに、今分散して学校に置いているものをもっと少し焦点化しながら学校に置くということも今後考えてみなければならない課題ではないかと思いました。

(深田委員長)

教育長の話に関連しますが、私は英語教育に何か利用できないかと思っていました。全員に持たせるわけにはいかないですし、全員に持たせなくてもいいかたちで英語教育で常に英語の声を聞けるような状況を毎日何時間か何分でもいいからそういうのを作っていくときに、そういう工夫をタブレット以外でも考えていけないかなどと思いました。先ほど教育長がすべての教科ではなく教科を限定してということで、ふるさと教育という話がありました。中学校の社会の授業では絶対役に立つだろうし、またそのようなところで他の学校とのやりとりなどを工夫すれば、少々離れているようなところでも授業をお互いに見せ合ったり交換しあったりして授業の質を高めることにも使えるのではないかなどと思いました。使い方をいろいろ考えると難しいと思うけれども研究はしていけないといけないことだと感じております。

このようなところで今回の協議を終えたいと思います。大変ご苦労さまでした。

**[日程 第7 教育委員会事務局の報告]**

(深田委員長)

日程第7「教育委員会事務局の報告」に移ります。教育総務課、報告をお願いします。

## 1 教育総務課

《教育総務課文化財室長の報告概要》

### (1) 豊岡市歴史文化基本構想策定の取組状況について

歴史文化基本構想は今後の文化財行政の基本方針としての計画である。教育委員の方々は昨年11月の定例会でこの基本構想のための委員会設置要綱について審議いただき、その際に策定の趣旨や歴史文化基本構想とはといったことについて説明した。また1月の定例会では、策定委員会がスタートした旨を報告している。本日はその後の策定進捗状況やスケジュール等を報告する。

策定委員会ではこれまで2回の審議を行っている。文化財室から豊岡市の文化遺産の状況や現状の文化財行政の施策について説明し、市の文化遺産の特徴、あるいは保存活用の課題について意見をいただいた。今後は計画のテーマ、基本方針、課題に対応するための新たな取組について策定委員会で審議していただきたいと考えている。

今後の予定は、12月に第3回策定委員会、1月には教育委員の方々に内容を説明し、意見をいただきたいと考えている。そして2月に第4回策定委員会を開催し取りまとめ、3月の定例教育委員会で成案を審議いただきたい。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(中川委員)

市民・地域との連携不足というようなことから新たな取組の中で「地域コミュニティ組織との連携」というところがうたわれているが、これのイメージするところはこういったものなのかということ、これはこれからのことだが、来年度から一斉に小中一貫教育が始まる。その中の1つにふるさと教育が入っており、それは人物や観光、産業であつたりするけれども、やはり歴史文化というのも大きな要素だと思う。学校現場との連携についてはぬかりなくやってほしい。何か思いがあれば説明してもらいたい。

(教育総務課文化財室長)

まず1点目の地域コミュニティとの連携について、文化財の考え方として文化単位という言い方をするところがある。これは同じ祭りを共有しているような集団、組織、そういったものが概ね同じような文化を共有しているだろうという考えで、これがまさしく地区公民館単位で創設される予定の地域コミュニティと概ね同じではないかと考えている。そういった単位で文化財室も連携していく。日高地区公民館地域の文化財について今調査しているのだが、博物館でこの冬にそれを紹介させていただく。皆さんが新たに地域のことを考えるときにまず地域のことを振り返っていただく。地域にどんな文化遺産があるのかということを知っていただく、そういうきっかけ作りをさせていただきたいと思っている。これがもっと発展して民俗文化財の伝統行事の継承といったものにつながればと思っている。

2つ目の小中学校での取組との連携は、今年は日高小学校と連携して、土曜チャレンジで6月には地域の石造物の調査、写真を撮って回るというような作業を子どもたちにさせていただいた。それから現在国分寺跡の発掘調査を実施しているが、11月5日には土曜チャレンジでその体験をしていただくようなことを計画している。また地域の文化遺産の紹介については、先日中学生の

皆さんが地域の神社とかあるいは石仏の写生をされていたので、そういった絵を飾らせていただく。そうやって地域とのつながりの中で地域の文化遺産を知っていただく、あるいは探していただく、そういうきっかけ作りができればということを考えており、この歴史文化基本構想でも新たな事業として入れていけたらと考えている。

(中川委員)

今のような説明を最初にしてもらおうと、単に基本構想というだけでなしに、理解しやすい。

(深田委員長)

今の話に関連して、10月29日に神美地区公民館で学習会をやって、その後11月に入って平尾家の公開というのがある。コミュニティが中心になって運営をされている形の案内を頂いたが、これもそのような連携の1つの現れかなと思いつながりながら見ていた。そういうことをできる地域とできない地域がある。できた地域の遺産みたいなものもしっかりとまとめて、そして他の地域にマニュアル的に、こんな事前準備をしてこんなことをしたら次はこの地域でもできるんだということを残していくということも大事なんだろうと思う。先ほど説明があった文化単位というのは地域の文化、習俗というのを考えると大変重要な単位になるので、そういうところで1つにまとまるというコミュニティの作り方というのは、次の時代につないでいく意義があると思う。そのようなことも考えてやっていただくというのは大変有り難いなと感じた。

もう1つは発掘体験について、こういう体験をさせていくということは、学校の授業の中でさせないといけないと思いつながりながらなかなかできない。時間がないからということだけではなくて準備や人出がかかるとかいうことがあってできないところがあるので、是非とも学校と、特に中学校と連携して、どしどしこういう体験を積極的にさせてやってほしいと思う。

他に何かありませんか。では教育総務課報告、以上で終了させていただきます。

続きまして、こども教育課、報告をお願いします。

## 2 こども教育課

《こども教育課長の報告概要》

### (1) 運動会、体育祭の感想から

9月に各学校の運動会・体育祭を訪問していただき、大変多くの感想、意見等をいただいた。

全体としては非常に肯定的な意見・感想が多かった。子どもたちの様子については小中の合同運動会等もあったわけだが、中学生が小学生の見本になっていたとか、それぞれ小中の単独の体育祭、運動会においてもリーダーや上級生が見本になって下級生をリードする、指導するというような姿がたくさん見られた。またそういうのを見て最後までふざける子どもが1人もなく一所懸命がんばる姿があったというような感想があった。中には、特に中学校の男子はもう少し元気があればというような意見もあった。

組体操や騎馬戦のけがが心配されるような競技、種目があるところもあったが、安全面についても複数で補助についていて配慮がなされていたと評価をいただいている。

特に小学校が実施した週が、雨が続いて変更判断が難しい状況での実施になった。多くの学校がなんとか予定どおりできたが、その中でも芝生が濡れていて滑りやすかったので、本来ならコーナーを使って走る競技を直線でやったり、プログラム等も順番を変えたり、地域

等の種目を午後に回して午前中に小学校を集中してやったりと、臨機応変にやる中で、教職員もマイク等で指示を出しながら大きな混乱なく工夫されて実施していたように思われる。雨天の判断の難しさというあたりでやはり順延をした学校も中にはあったが、順延の判断でも翌日に順延、その次に順延と延ばしていったところもあった。それは保護者の方が大変だったのではないかと、もう少し先まで一度に延ばしてもよかったのではないかとというような意見もあった。

生徒数・児童数が減っていく中でだんだんと小規模になってくるところ等は、種目等、演技構成等も工夫が必要になってくるとか、演技と演技との間等のつなぎもちょっと間が空いたりする部分はBGM等を使って構成とか演出に工夫があったらよかったというような意見をいただいた。

熱中症対策については、小学校については幸い涼しい日だったが、中学校も水分補給・休憩等の指示も入っていて配慮されていたり、生徒席・児童席のテントもあったということで一定の配慮がなされていたのではないかと思います。

頂いた意見は学校に伝えて、来年度の改善に向けて活用させていただきたい。

## (2) 豊岡市こども支援センターの活動報告等について

資料に月例の報告書を添付している。9月の不登校、特別支援、家庭相談の3つの相談件数、それから4月からの累計の件数を確認いただきたい。

こども支援センターの機能充実の一環で、本年度から研修機能を強化するという事で、新たに6つの講座、研修を設けたことを先月報告した。資料に参加申し込み状況を記載している。現在のところ、ほとんどの講座で定員をオーバーする申込者がある。そういった盛況な状況で参加申込者が集まってこれから実施をするというところで進んでいる。

(深田委員長)

ありがとうございました。説明・報告は終わりました。質問・意見はありますか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

それでは質問・意見、打ち切りをさせていただきます。

続きまして、こども育成課の報告に移ります。こども育成課、報告をお願いします。

## 3 こども育成課

《こども育成課長の報告概要》

### (1) 平成29年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について

来年度の幼稚園・保育園・認定こども園の入所者の募集を11月から開始する。特に昨年度と変わった点だけ説明する。

保育園の来年度の入園募集は、11月9日から11月30日の期間で募集を始める。現在、認可外保育施設であるビエネスターこども園が、8月・9月の定例会で報告した小規模保育事業

を来年度から展開し、かばんストリート保育園と名称変更されて、6か月児から2歳児までの定員19人で市の認可保育事業として移行する予定である。

認定こども園は昨年度と変わらない。

## (2) 平成29年度放課後児童クラブ入所者募集について

放課後児童クラブも昨年度と同様に市内29小学校区に34の放課後児童クラブで、11月9日から11月30日まで利用者の募集を行う。

(深田委員長)

こども育成課、2点報告をいただきましたが、質問・意見がありましたらお願いします。

(委員)

なし。

(深田委員長)

ないようですので質問・意見の打ち切りをさせていただきます。

以上で教育委員会事務局からの報告はすべて終了いたしました。暫時休憩をいたします。

---

休憩

---

(深田委員長)

休憩前に引き続いて会議を再開します。

## [日程 第8 委員活動報告]

(深田委員長)

日程第8「委員活動の報告」に移らせていただきます。前回の定例会から本日までの間でいろいろと活動された中でお感じになられたこと、お気づきになられた点について短時間で結構ですのでお聞かせいただきたいと思います。

### 《各教育委員の報告概要》

(佐伯委員)

淡路市のタブレット活用の視察のときに思ったことだが、「やらないといけないから」と先生方がこれに取り組むことに対して負担に思われる方も出てくるかと思う。淡路市で聞いた話の中に、「こうやったら子どもたちが喜ぶかなとか、こうしたら子どもたちが盛り上がるかなと、先生たちも一緒に楽しめるような、そんな環境の中で教えていくのがいいのではないか」という言葉があった。豊岡市もそのように、先生方も一緒になって楽しみも入れながらあまり気持ちが重くならないような取組をしていただきたい。

少し不安に思ったのは、淡路市は機材を順次揃えておられたが、順次揃えて全学校に配り終えた頃には、最初に購入していた機材がもう古くなっているということがあるとされた。豊岡市も順次というかたちになると思うのでそういうときの対応も少し頭に入れながら準備していただ

きたい。

(深田委員長)

竹野中学校の学校訪問で先生方の研修に参加した。先生方は本当によく研修をされて、またその要となっておられる先生方も企画をしながら先生方同士で切磋琢磨されていたので大変だと思うと同時に有り難いことだと感じた。竹野中学校の研修は道德の研修会だった。道德の時間が道德科というようなかたちで学習指導要領の中に位置づけられて1年半ぐらいになる。そういう中で中学校の道德科の要として、「学校の教育活動全体で行う」ということになっているので、そういう意味では研究されていたのは国語の教材を使いながらだったが、そのような中で先生方が道德教育の配慮すべき4項目をしっかりと位置づけながらやっておられるということに大変感心すると同時に、やはり中心になる先生はしっかりとそういうことも研修されているのだと大変有り難く思った。

先生方は本当に日常的に大変忙しい中で、タブレット活用、教科道德などの次から次へ新しい改革の中で、休む間なく挑戦していかなければならないということで大変だと思う。1人でやるということは不可能だろうから、研修の場なりを通して先生方がやっておられるんだということと一緒に参加させていただいて感じた。私としても特に道德の時間のことだったのでごく勉強になった。先生方の努力も見えるし、こちらも勉強になったということで大変よかった竹野中学校の研修だった。

では委員の方々の活動報告は以上で閉じさせていただきます。

## [日程 第9 教育委員会活動予定]

(深田委員長)

続きまして日程第9「教育委員会活動予定について」事務局から説明をお願いします。

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

### 1 次回教育委員会会議の日程について

次回、第8回の教育委員会会議の日程は、11月24日(木)13時30分から、本庁舎7階の第3委員会室で開催する。この日は夜に小中一貫教育の保護者説明会があるので、学習会なしで教育委員会定例会のみとさせていただく。

第9回、12月の定例会について日程を決めていただきたい。移動教育委員会は竹野と出石が残っている。開催希望日は、第1希望が12月22日、第2希望日は12月21日で、竹野庁舎で開催してはどうかと思うがいかがか。

＜ 各委員の都合を確認し、第9回定例会は12月22日(木)13時30分から竹野庁舎の会議室で開催することに決定した。 >

### 2 今後の活動・行事予定

今後の活動予定について、資料に現段階で把握しているものを記載しているので確認していただきたい。

1月26日(木)に、とよおか教育プラン実践計画策定に係る協議を目的に、教育委員協議会

を開催したいので予定をお願いしたい。

移動教育委員会終了後に地域学習会をしているが、今年は小中一貫教育関係の取組状況等を学校長から聞いている。12月になると保護者説明会で全地域聞いている状況である。竹野地域と出石地域について、他に何か聞きたいことがあれば、学習会を設定するが、日暮れも早くなっているので、特になければ今年度の地域学習会は終了してはどうか。竹野・出石でこれが聞きたいということが何かあれば聞かせていただきたい。

＜ 委員から地域学習会の議題の希望なし。今年度の地域学習会は、第7回定例会終了後の日高地域学習会をもって終了することに決定した。＞

(深田委員長)

今後の行事予定、活動予定について説明をいただきました。以上で教育委員会の活動予定については終了させていただきます。

会議日程は以上です。それでは以上をもちまして定例教育委員会会議を閉会します。

---

閉会 午後3時5分

---